

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成28年度第1回高松市美術館協議会
開催日時	平成28年8月16日(火)14時00分～15時30分
開催場所	高松市美術館 3階会議室
議 題	(1) 平成27年度事業報告について (2) 平成28年度事業計画について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	古川副会長、滝川委員、岡委員、西成委員、蓮井委員、田村委員、豊田委員、ペイジ委員、有澤委員、三井委員、池田幸委員、横倉委員、池田恵委員
傍 聴 者	0人 (定員 5人)
担当課および 連絡先	美術館美術課業務第二係 823-1711

審議経過審議結果

司 会	委員15人中、13人の出席で、協議会条例第7条第2項の規定により、会議は成立。(ペイジ委員が途中から出席)
局 長	－あいさつ－
司 会	館長の就任を紹介。高松市側の異動職員を紹介。
館 長	－あいさつ－
司 会	協議会条例第7条第1項の規定により、会長が、会議の議長を務めることになっているが、会長が欠席により、協議会条例第6条第4項に基づき、副会長に議長をお願いする。
副会長	高松市では、「高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針」を定め、会議は、原則として公開することとしているが、本日の会議は公開することよろしいか。
各委員	異議なし
副会長	異議がないので、本会議は公開とする。
副会長	議題(1)の報告事項「平成27年度事業報告について」事務局に説明をお願いする。
事務局	－資料により説明－
副会長	説明に対して、質問等があればお願いする。

審議経過および審議結果

各委員	質疑なし
副会長	議題（２）の議案「平成２８年度事業計画について」事務局に説明をお願いします。
事務局	－資料により説明－
副会長	説明に対して、質問・意見等があればお願いします。
委員	美術館の日の来場者１，２００人は妥当なのか。
事務局	今年が１，２００人で、正解はないと思うが、増やしていくようにしたい。
委員	予算書を見ると、塩江の作品取得費が２千円というのは作品を買わないということか。
事務局	予算の２千円は取得基金約４００万円の利息分であり、基金で作品を収集する。
事務局	基金の趣旨としては、年度予算の中で、作品を買う時期が来た時に買うというために基金としておいてある。ただ、積み上げていくものではない。
委員	塩江美術館は県内の若手作家の作品を収集することにより、美術館に自分の作品が収蔵されたということで、若手作家の希望につながる。基金で作品を購入していくということでのよろしいか。
事務局	作品は計画的に購入していく予定である。
委員	文化都市で瀬戸芸も開催している高松で作品購入費や資料収集費の予算が２，０００万円程度では少ないのではないか。
事務局	できれば、もう少し盛り込みたい。
委員	リニューアルした美術館として、創造都市高松にふさわしい美術館のあり方について、今後、バージョンアップしていくことは何か。
事務局	美術館としては、サポートショップしかり、地域との結びつきにおいて、美術館と地域に人が集まることを目指し、また、こどもアートスペースを新設したように、こどもたちを対象とした教育普及事業もPRしていく。
委員	瀬戸芸でインバウンドが増えているが、どこの国から来ているかを把握しているか。
事務局	正確には把握していないが、瀬戸芸により、例年に比べ、外国からの来館者が増えており、特に台湾から多く来館している。

審議経過および審議結果

- 委員 瀬戸芸に来ている観光客にどこから来たのかを聞くと本当に外国人が多く見られる。そういう方々にヤノベケンジ展を見てもらいたい。ただ、美術館が孤立しているように思える。
- 委員 美術館に小さい時から来ることは大切なことだと思う
- 委員 サンクリスタル学習や今度できるこども未来館との連携も大切だが、綾川町では幼稚園などに出張で芸術を教えに来ている。身近で芸術を楽しめることが重要だ。
- 委員 ピアノコンクールの入賞者が学校に来て、演奏をするみたいなことをすることにより、こどもが芸術と身近に触れ合える。
- 委員 以前は美術館において、伝統的な展覧会と現代的な展覧会を行っていたが、今は、伝統的な展覧会の開催がないので、高齢者が来館しなくなってきている。入館者数を増やすには高齢者に来てもらえる展覧会もしなければいけない。高松市美術館は高年齢層の好きな分野の展覧会をやってほしい。
- 事務局 日本画の展覧会も予定している。西洋の名画は都会で開催されている。できれば、計画する。
- 委員 都会の美術館の役割や高松市美術館の役割はそれぞれある。高松市美術館が都会の美術館のような展覧会をしなければならないとは思わない。高松市美術館は独自の展覧会を行えばいい。
- 委員 高松市美術館は顔が見えない。高松市美術館のカラーがわからないので、大々的に館長の顔を出して、この美術館は素晴らしい作品を収蔵していることをアピールしてほしい。
- 委員 収蔵している作品をHPで公開してほしい。
- 事務局 公開できる作品はHPで公開している。
- 委員 市民が収蔵作品の何々を見せてほしいと来る人は少ない。
- 委員 高松市美術館は戦後日本の素晴らしい美術品を多く収蔵している。東山魁夷美術館などの収蔵している日本画と比べると、数的に圧倒的に本画を多く収蔵していて誇りに思う。
- 委員 リニューアルオープンの展覧会は素晴らしかった。こんな展覧会をしているのを私たちがPRするにはチラシを配ることぐらいだが、多くの方にわかってもらいたい。

審議経過および審議結果

- 委員 中学生が学校の行事で美術館に来るのは学校の先生によるが、美術館に来たことで現代美術に興味を持ったりしている。また、高齢者の方も現代美術に触れることで興味を持ってほしい。また、高松市美術館が塩江美術館をもっとPRしてほしい。
- 委員 高松市美術館は常設展で現代アートを展示して、企画展で伝統的な展覧会をすることもできる。両方とも現代アートするのはしつこい感じがする。
- 副会長 平成28年度事業計画について、御承認いただけるか。
- 各委員 異議なし
- 副会長 教育委員会から諮問を受けた「平成28年度高松市美術館・高松市塩江美術館の運営等」について、「平成28年度事業計画」は、おおむね妥当であると認め、意見集約し、その旨を答申する。御異議はないか。
- 各委員 異議なし
- 副会長 次に議題（3）その他について、事務局から何かあるか。
- 委員 ヤノベケンジ展で映画撮影があるみたいだが、公開はあるか。
- 事務局 公開の予定はあるが、まだはっきりしていない。
- 事務局 さまざまな人の都合があるので 調整でき次第、報道提供する。公表の手段が限られると思う。
- 副会長 瀬戸芸が行われているが、高松市美術館との関連についてはどうなのか。
- 事務局 瀬戸芸期間中は特別展を無休としており、パスポート持参された方には観覧料を2割引きにしている。
- 事務局 高松市としては「めぐると高松」の中にも美術館を載せている。瀬戸芸からここにも来てもらいたいと思う。ただ、島めぐりしてからこちらによってもらえるかというところが不安である。紹介をしてぜひ来てもらいたい。瀬戸芸は別物とは考えていない。
- 副会長 瀬戸芸から商店街は疎外感がある。いいものがあることが広報されていない。商店街に川島猛先生の作品があるが、県から広報されていない。

審議経過および審議結果

委員 瀬戸芸に関して、県と市の連携はできているのか。高松市は瀬戸芸に予算をかけていない。作品収集費にももっと予算をかけてもいいと思う。教育普及もワークショップも情報発信が予算がなくてできないのではないけない。創造都市として、広報などに予算をかけて、また、商店街ともっと連携していくべきだ。

副会長 これをもって、平成28年度第1回高松市美術館協議会を閉会する。

審議経過および審議結果

(委員)

コミュニケーションの手法を考えてほしい。心に響くようなPRの仕方を考えてほしい。

(委員)

番組として取り上げようとする、それなりのことをやらないと取材の対象にはならない。来館者数を増やす努力をしているところが見えれば、取材するに足りると思う。

(委員)

(瀬戸芸は) 瀬戸内海の多島美中にアートがあるわけで、それを見に来ているわけで、高松市美術館に素晴らしい美術品があっても見に来ないと思うし、商店街にも来ないと思う。でも、何かあると見にこようかなということになるが、作品を並べているだけでは見に来ない。

(副会長)

いいものがあることが広報されていない。商店街に川島先生の作品があるが、県から広報されない。

(委員)

リニューアルオープンに向けたチラシについての委員の意見も、次に、活用してほしい

(委員)

未来の来館者ということで子どもとお母さんの来館が重要であると考えている。待っているだけではだめなので、こちらから出向いていく。

(会長)

今後の予定は、8月末に審議、10月初旬に取りまとめ。美術館と委員も今日の意見を持ち帰り、十分検討した上で、次回審議したい。

次回日程調整

議題(5)その他について

(会長)

(5)のその他、何かあるか。

(事務局)

現在、2会場でコレクション展を開催中であり、ぜひご観覧ください。

(会長)

これをもちまして、平成27年度第1回高松市美術館協議会を閉会する。